

政策6 快適な「暮らし」を造る（都市基盤整備・上下水道）

施策30 都市計画・土地利用

現状・課題

（1）合理的な土地利用と土地開発

秩序あるまちづくりのためには、周辺環境と調和した土地利用が不可欠です。市街地の周辺部では農地から宅地への転換が進み、低密度な市街地が拡大しつつあるほか、未利用地を利用した太陽光発電施設の設置などが増加しています。用途地域の指定と開発指導等により、適切な土地利用を推進する必要があります。

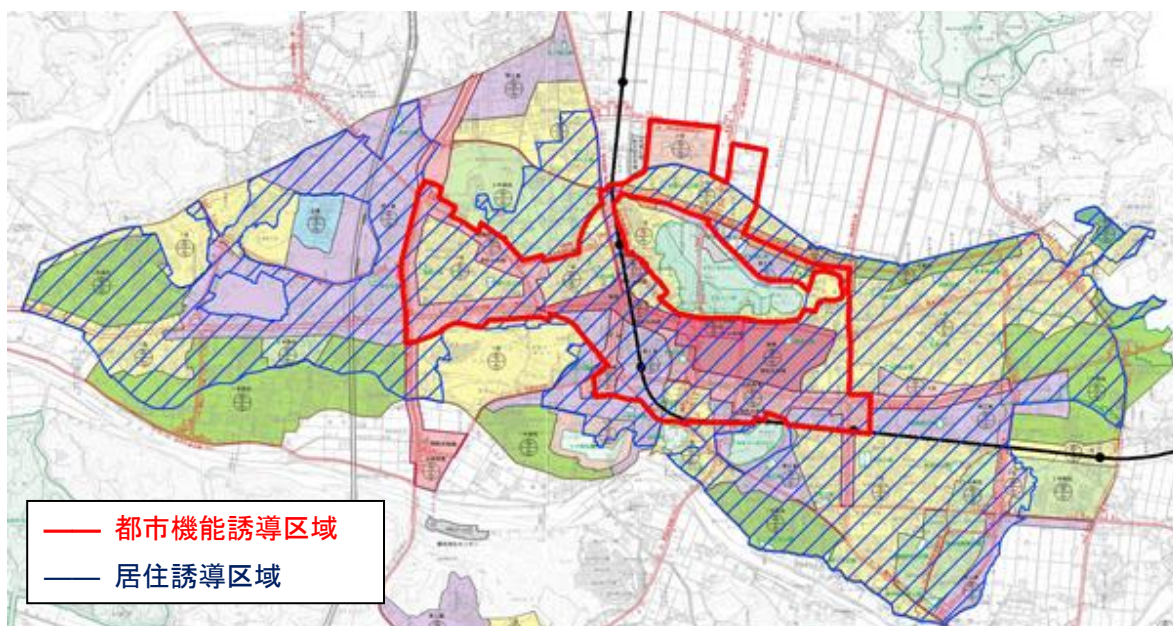
（2）人口減少社会に対応した持続可能な都市形成

市街地中心部の人口減少と高齢化が進み、空き家、空き店舗が増加しています。また、医療、商業等生活サービス施設の移転や撤退による都市の魅力の低下が危惧されています。2016年度に策定した「関市立地適正化計画」で定めた、都市機能誘導区域と居住誘導区域への生活サービス施設、居住の誘導をすることで持続可能でコンパクトなまちづくりを進めています。

（3）「コンパクト+ネットワーク」のまちづくり

まちの活性化のためには、各地域の機能分担と効率化が必要です。市街地中心部には行政、商業、文化等の都市機能を集約させ、中山間地域は観光・レクリエーションや農林水産物の生産地として地域活力を維持し、中心部と地域が公共交通や道路でつながれた「コンパクト+ネットワーク」のまちづくりを進める必要があります。

■都市機能誘導区域と居住誘導区域



資料：関市立地適正化計画

めざす姿

- ・市街地中心部ににぎわいがあり、生活施設が市民に身近で住みやすいまちになっています。

成果指標

都市計画・土地利用の満足度

アンケート結果

現状（2017）

80.3%

UP

居住誘導区域内への転入人口

住民基本台帳より

現状（2016）

654人

→

中間目標（2022）

622人

→

最終目標（2027）

595人

取組

| 重点 | 取組の方向性 | 取組の主な内容 | New | SEKIism |
|----|---------------------------------|--|--------|---------|
| ● | 調和のとれた土地利用により、利便性の高い都市を形成します。 | 開発指導、土地利用規制 用途地域の見直し 都市計画マスタープラン | ● | |
| | 市街地中心部の魅力と賑わいを創出し、魅力ある都市を形成します。 | 刃物ミュージアム回廊周辺整備 まちづくり会社を活用した市街地中心部のにぎわいづくり | ● ● | ● |

「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



にぎわい・つながりのある 歩いて楽しいまち（関市立地適正化計画）

関連計画

- ・関市立地適正化計画（2017～2035）
- ・都市計画マスタープラン

基本計画

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7

施策 31 住環境

現状・課題

(1) 定住を促進する住環境

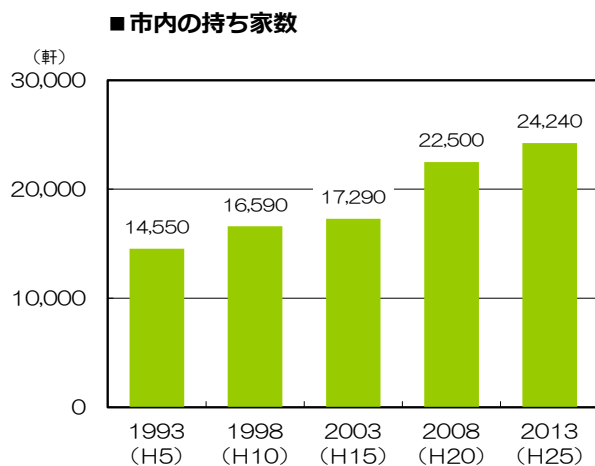
人口減少を抑制するためには、住んでみたい、住み続けたいと思われる良好な住環境の整備が重要です。整理された宅地を供給することや、既成市街地において道路や歩道のバリアフリー化を進めることにより、住みよい住環境づくりを推進します。

(2) 住宅の耐震化の促進

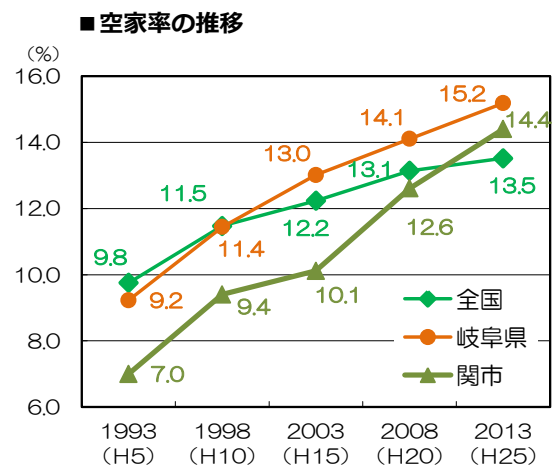
南海トラフ地震など、東海地方に大規模な被害を及ぼす震災の発生が危惧されています。だれもが安心して暮らすことができるよう、既存の住宅の耐震化等を進める必要があります。

(3) 空家等への対応

適切な管理がされていない空家等は、倒壊の危険性や防犯、衛生の面で住民生活に影響を及ぼし、住環境を悪化させる要因になります。2017年度に策定した「関市空家等対策計画」に基づき、住民、各種団体、行政機関等が連携し、空家化の抑制や危険な空家等の解消の取組を進める必要があります。



資料：住宅・土地統計調査



資料：住宅・土地統計調査

めざす姿

- ・安全で快適な住環境が確保されていることで、市民が安心して暮らすことができるまちになっています。

成果指標

住環境の満足度

アンケート結果

現状（2017）

78.4%

UP



区画整理整備率

整備済面積／整備計画面積

現状（2016）

21%



中間目標（2022）

54%



最終目標（2027）

100%

取組

| 重点 | 取組の方向性 | 取組の主な内容 | New | SEKIism |
|----|--------------------------------|---------------------------|-----|---------|
| | 整理された快適な住宅用地を整備します。 | 区画整理事業（平賀第一、平賀第二など） | | ● |
| ● | 空家等の発生の予防、活用、管理不全の解消を推進します。 | 空家等対策計画 特定空家等に対する助言・指導 | ● | |
| | 建物の耐震化支援を行い、地震に備えた安心な住環境を整えます。 | 耐震相談士派遣 木造住宅耐震補強補助 | | |
| | 優良な住宅供給のため、宅地開発指導を行います。 | 適正な宅地開発に向けた指導 | | |

「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



木造住宅耐震無料相談会



笠屋土地区画整理事業

関連計画

- ・ 関市立地適正化計画（2017～2035）
- ・ 関市耐震改修促進計画（2006～2020）
- ・ 関市空家等対策計画（2018～2027）

基本計画

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7

施策 32 公共交通

現状・課題

(1) 利便性の高い公共交通網の整備

本市は中心部、西ウイング、東ウイングにより構成され、それぞれのウイングが南北に広い市域を有しています。長距離の路線を繋ぐ必要があるため、利便性の高い公共交通ネットワークの形成が課題となっています。

(2) 市民の生活を支える交通網の整備

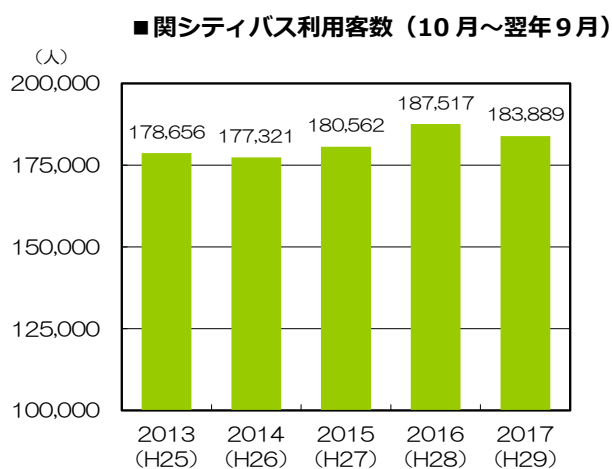
市内の公共交通であるバスや鉄道事業に対して、市が負担するコストの増加が課題となっています。一方、自家用車を持たず、移動を制約される人の日常生活を支えるために効果的で効率的な公共交通が求められています。

(3) 広域的な公共交通網の整備

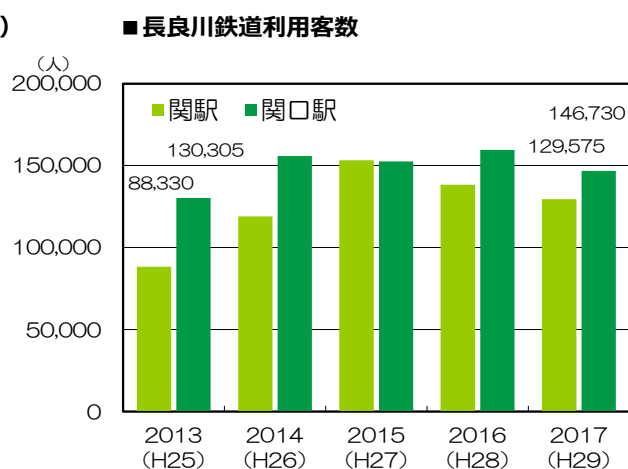
2012年度から2016年度のまちづくり市民意識アンケートにて、「本市で住み続けていくために重要なこと」として、「交通の利便性が良いこと」と回答した人は40%を超えています。市外への通勤や通学を転機に転出を選択するケースもあるため、市内に人を留め、また市外から人を呼ぶために、近隣都市へのアクセスを考慮した広域的な公共交通網の形成が課題です。

(4) 市内の対流を生む公共交通ネットワーク

公共交通には、「コンパクト+ネットワーク」のまちづくりを進めるため、生活サービス等の機能を集約させた市街地中心部と地域の拠点をつなぐ役割があります。市内に「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」の対流を生むため、地域間のアクセスを容易にする公共交通ネットワークを構築することが重要です。



資料：市民協働課



資料：市民協働課

めざす姿

- ・公共交通機関を利用することで、だれもが快適に市内外の移動ができています。

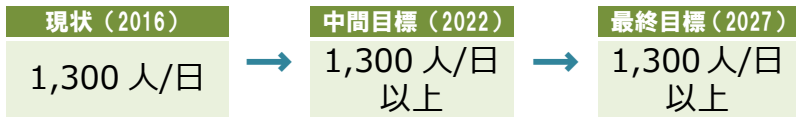
成果指標

公共交通の満足度
アンケート結果



市街地における 1 日当
たりのバス乗降人数

関シティバス、岐阜関線、倉知線乗降調査



取組

| 重点 | 取組の方向性 | 取組の主な内容 | New | SEKIism |
|----|-------------------------|--|--------|---------|
| ● | 市内外を便利に移動できる公共交通を運行します。 | バス路線見直し 地域内バスの運行支援・再編 市内巡回バスの運行、再編 デマンドタクシー、デマンドバスの運行 鵜沼駅へのバスの検討 | ● ● | |
| | 長良川鉄道の利用促進と安全運行を支援します。 | 老朽化した長良川鉄道施設の整備 関駅のトイレ改修 | ● | |
| | 公共交通の通勤通学への利用を支援します。 | 高速名古屋線通学助成 高校直行便バスの運行 バスと鉄道の共通定期券の導入 | ● ● | |

「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



長良川鉄道



関シティターミナル

関連計画

- ・ 関市地域公共交通網形成計画 (2017～2021)
- ・ 関市地域公共交通再編実施計画 (2019～2022)

基本計画

政策 1

政策 2

政策 3

政策 4

政策 5

政策 6

政策 7

施策 33 景観・公園

現状・課題

(1) 景観まちづくりの推進

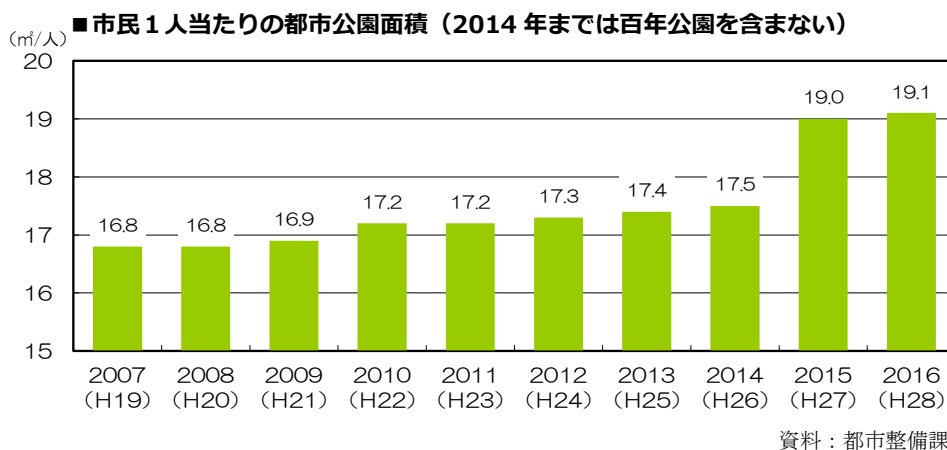
特色ある自然、歴史、文化、産業等により形成される景観は、市民共有の貴重な財産です。2015年に策定した「関市景観計画」等により、景観の保全、整備、規制等を進めています。街角の修景や公共サインの見直し等により、市民が愛着をもつ都市景観づくりを進めることが必要です。

(2) 多様化する公園の役割

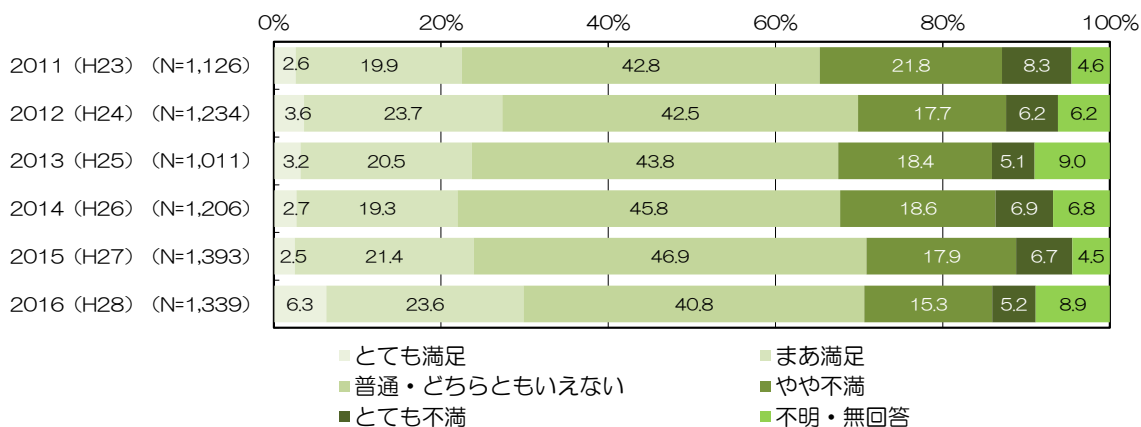
公園は、景観形成、防災、観光など、多面的な機能を持っています。また、コミュニティや交流イベントの場としての役割も担っており、市民の暮らしに憩いをもたらしています。子どもの遊び場としてだけでなく、人々のライフスタイルの多様化に合わせた公園利用が期待されています。

(3) 市民に身近な公園の整備

本市は2017年3月現在、139箇所の公園（うち都市公園75箇所、都市公園に準ずる公園64箇所）を有しています。市民1人当たりの都市公園面積は19.1㎡/人であり、これは県平均の10.1㎡/人を上回っています。しかし、公園までの距離が遠い、公園がないという地区もあり、子育て世代や高齢者世代のニーズに対応した、新しい公園の整備が必要です。



■ 公園に対する市民満足度



めざす姿

- ・活発なコミュニケーションを生む公園が各地域に配備され、市民の憩いの場となっています。

成果指標

景観・公園の満足度

アンケート結果

現状（2017）

81.3%



市民一人当たりの 都市公園面積

都市公園面積（百年公園含）÷人口

現状（2016）

19.1 m²



中間目標（2022）

19.4 m²



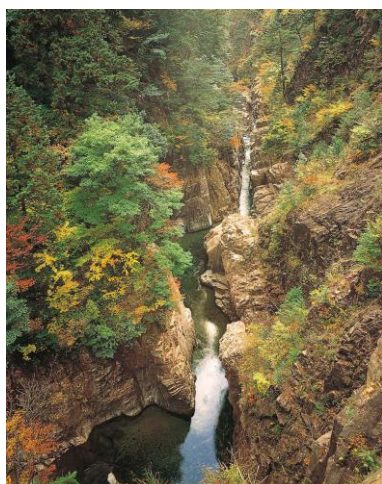
最終目標（2027）

19.5 m²

取組

| 重点 | 取組の方向性 | 取組の主な内容 | New | SEKIism |
|----|-----------------------------|--------------------------|-----|---------|
| | 安心して遊ぶことができる公園づくりに取り組みます。 | 公園維持管理 公園施設修繕 遊具点検 | | |
| ● | 市民のニーズに合った、利用しやすい公園を整備します。 | 新設公園整備 | ● | |
| | 市民、事業者、行政の協働による景観の保全を推進します。 | 緑化支援 景観重点地区の整備助成 | ● | |

「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



市内の景観・川浦溪谷



泉ヶ丘公園

関連計画 ・ 関市景観計画（2015～）

基本計画

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7

施策 34 道路・橋りよう

現状・課題

(1) 広域的交通網の整備

本市と周辺の都市間をつなぐ交通網として、東海環状自動車道や岐阜東バイパスの整備が進んでいます。これらの広域的交通網は、人や物の移動の利便性を高め市内の産業を発展させるため、早期の開通が期待されています。国土交通省は、東海環状自動車道の関広見IC～（仮称）高富IC区間について、2019年度の開通見通しと公表しています。

(2) 市内交通網の整備

市街地周辺では、南北に縦断する道路が少ないことにより交通の利便性が低下しています。

2018年に開通予定の西本郷一ツ山線、今後開通する東山西田原線、東本郷鋳物師屋線などにより、市内の往来や広域的な道路へのアクセスの向上が期待されています。

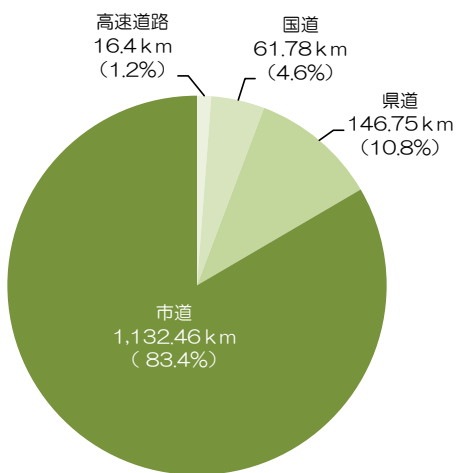
(3) 計画的な維持補修

本市は広く起伏の多い地形であることから、道路延長は長く、橋りよう数も多くなっています。生活道路は市民生活の利便性に直結するものであるため、継続的な維持補修が不可欠です。将来を見据え、道路と道路施設の長寿命化を計画的に行う必要があります。

(4) 橋りようの耐震機能強化

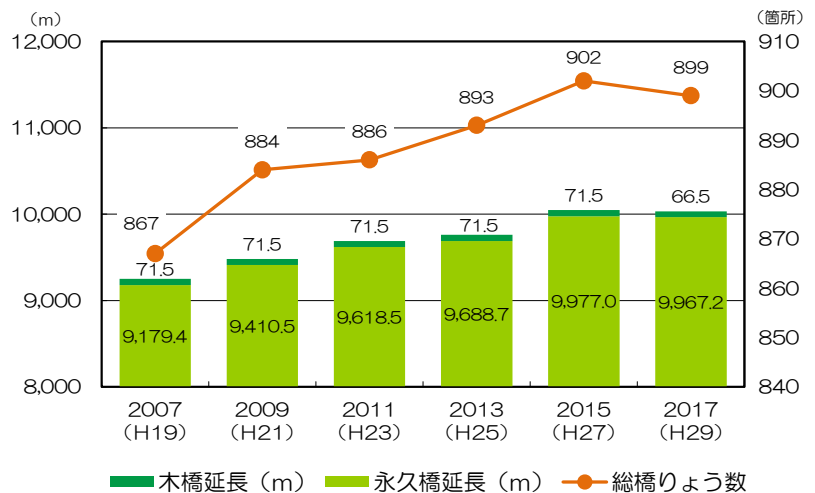
震災などの大規模な災害が起きた際には、橋りようは重要な避難経路となります。定期的な点検と耐震改修を行うなど、常に市民が安全に利用できる橋りようの整備が求められています。

■ 市内の道路の状況



資料：土木課（2017年4月現在）

■ 市道の橋りようの状況



資料：土木課

めざす姿

- 適切な道路整備と維持補修により、安心して道路が利用でき、市内外を活発に人が行き交っています。

成果指標

道路・橋りょうの満足度

アンケート結果

現状（2017）

75.5%



橋りょう耐震補強率

耐震補強完了数÷橋りょう数

現状（2016）

31%



中間目標（2022）

46%



最終目標（2027）

62%

取組

| 重点 | 取組の方向性 | 取組の主な内容 | New | SEKIism |
|----|--|---|-----|------------------|
| ● | 都市間道路の整備促進を行います。 | 東海環状自動車道西回り 岐阜東バイパス（国道156号） 国道418号、248号 国道256号（洞戸尾倉地内） | ● | ● ● ● ● |
| | 安全で便利な生活のために、市道の整備と改良を行います。 | 鮎之瀬ふれあいセンター道路 尾太中池線 倉知藤谷線 | | |
| | 橋りょうの適切な点検、補修を行うことで、安全な通行を維持します。 | 橋りょう点検・補修 補修－123橋 点検－903橋（5年に1回） | | |
| | 震災時に安全な避難経路を確保するために、必要に応じて橋りょうの耐震化を進めます。 | 新富津橋・江底橋・万代橋・柳瀬橋 新松本橋 | | |
| | 市内の南北交通の利便性を高めます。 | 東山西田原線 東本郷鋳物師屋線 | | |

「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



東海環状自動車道 関広見インター付近



東山西田原線

関連計画

・橋梁耐震補強計画（～2048）

基本計画

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7

施策 35 治山・治水

現状・課題

(1) 土砂災害への対策

土砂災害の発生により建築物や住民に危害を及ぼすおそれのある「土砂災害特別警戒区域」や「土砂災害警戒区域」は、1,119箇所が指定されています。短時間での強雨や地震が起こっても、がけ崩れ、地すべり、土石流などの災害が起こらないよう、砂防施設や急傾斜地の崩壊対策が必要です。

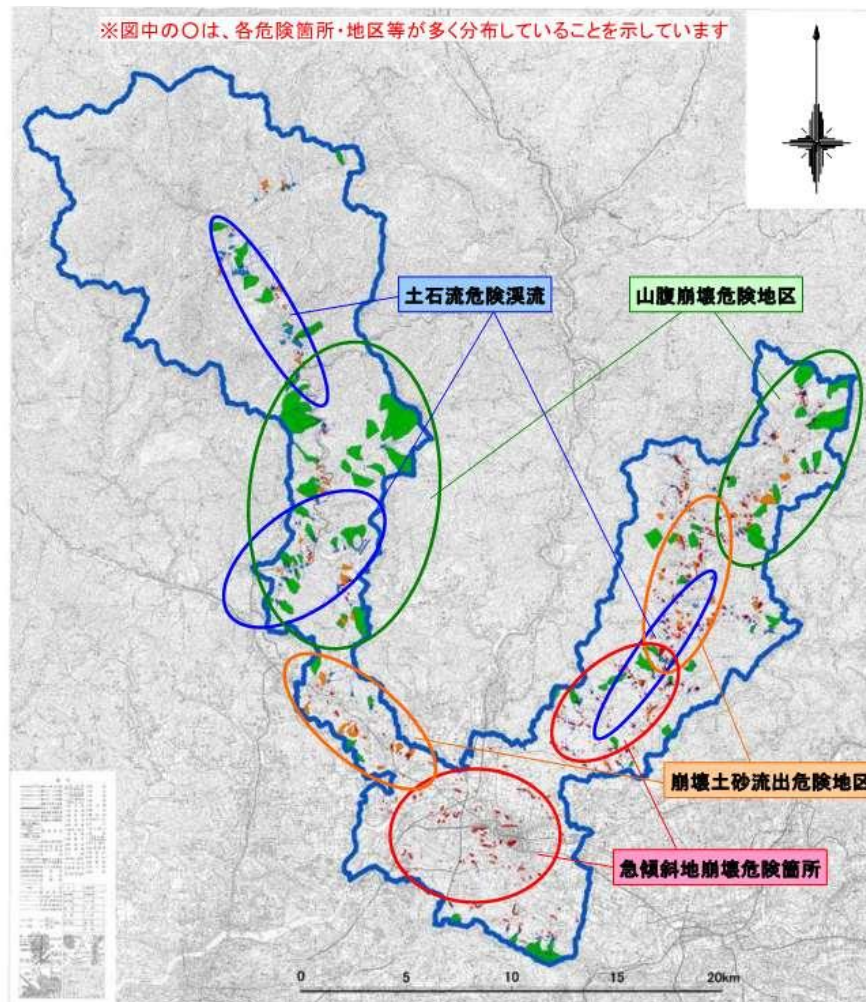
(2) 浸水、氾濫など水害への対策

近年、大型台風や突発かつ局地的な集中豪雨が増加傾向にあり、多量の降雨による河川の氾濫など、水害の発生が危惧されています。安心な市民生活のためには、水害を未然に防ぐ河川と雨水排水路の整備が求められています。

(3) 一級河川の整備

河川の中でも、流域の経済のため特に重要であると認定され、国や県が管理するものが一級河川です。本市を流れる長良川などの一級河川では、浸水が起こるとその被害は甚大となることが予測されるため、国や県と連携した河川整備を推進することが重要です。

■土砂災害危険箇所



めざす姿

- 河川砂防、急傾斜施設が整備され、豪雨や震災時などにおいても安全な生活を保つことができます。

成果指標

治山・治水の満足度

アンケート結果

現状（2017）

85.6%



排水路整備

雄飛ヶ丘・倉知・上白金・西本郷・小瀬・一ノ門・武儀寺洞 総延長 1,239m

現状（2016）

406m



中間目標（2022）

917m



最終目標（2027）

1,176m

取組

| 重点 | 取組の方向性 | 取組の主な内容 | New | SEKIism |
|----|-----------------------------------|--|-----|---------|
| ● | 台風及び集中豪雨による長良川をはじめ一級河川の浸水被害を防ぎます。 | 長良川中流域の遊水池事業 長良川改修事業 津保川・武儀川・小那比川他河川改修事業 | ● | |
| | 集中豪雨などの災害時の水害を防ぎます。 | 雄飛ヶ丘・倉知・上白金・西本郷・小瀬 一ノ門・武儀寺洞排水路整備 | | |
| | 土砂災害警戒区域の安全を確保します。 | 急傾斜地崩壊対策事業 武芸川「本都延」 武儀「町1」 洞戸「神明前」 上之保「小樽」 砂防事業 武儀「大洞谷・寺洞」・板取「島口川」 | ● | |

「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



塔ノ洞地内 急傾斜地崩壊対策事業



下之保地内 落石防護柵

基本計画

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7

施策 36 上水道

現状・課題

(1) 水道料金収入の減少

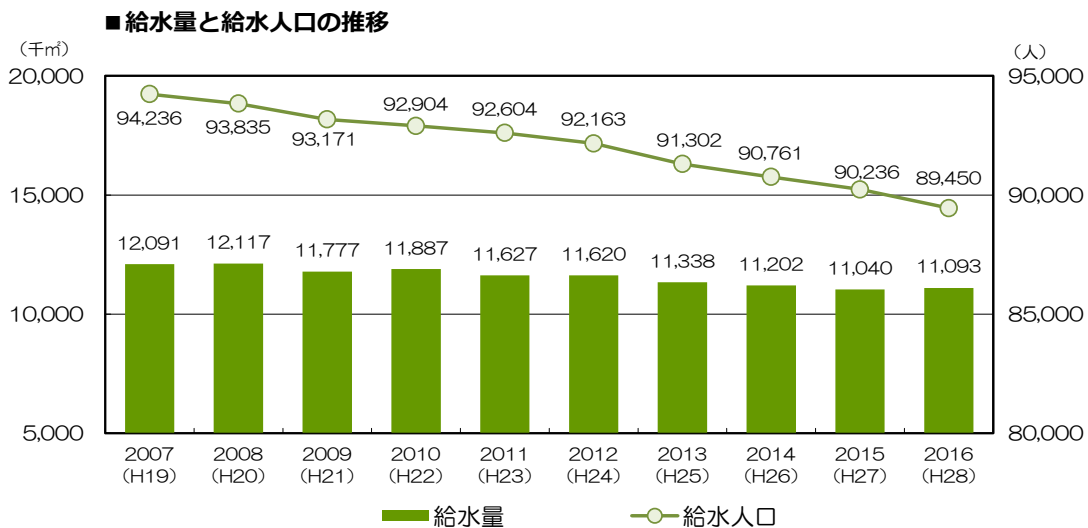
本市の人口は、2005 年をピークに減少傾向にあります。今後も人口が減少することで市全体の水道使用量は減少し、それに伴い水道料金収入も減少していくことが見込まれます。

(2) 健全な水道事業の運営

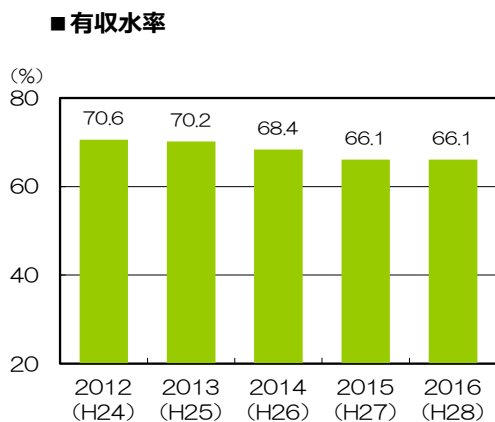
水道料金収入の減少に対応しながらも、安全で安定した飲料水の配水は継続していかなければなりません。浄水施設や配水管の修繕や更新を計画的に行うとともに、施設の統合や広域化の検討など、効率的で健全に水道事業を運営することが求められています。

(3) 水道施設の耐震補強

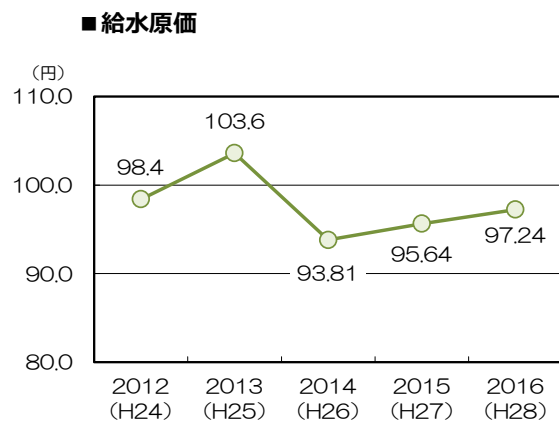
水道施設は重要なライフラインであるため、災害時においても給水機能は維持し続けなければなりません。一方、水道施設は老朽化が進んでいるため、震災時にも給水を続けられるよう、耐震化工事を進める必要があります。



資料：水道課



資料：水道課



資料：水道課

めざす姿

- ・衛生的で安全な水が安定して供給されており、市民が安心して水道水を利用しています。

成果指標

上水道の満足度

アンケート結果

現状（2017）

95.1%



有収水量率

料金収入水量 ÷ 配水流量

現状（2016）

67%



中間目標（2022）

74%



最終目標（2027）

80%

取組

| 重点 | 取組の方向性 | 取組の主な内容 | New | SEKIism |
|----|-----------------------------------|--|--------|---------|
| | 水道施設を適正に管理し、安定した水道事業を運営します。 | 洞戸中央水道施設の機能強化 寺尾水道と洞戸中央水道の統合検討 計画的な浄配水施設・管路の更新 | ● ● | |
| ● | 震災時にも給水機能を維持できるように、水道施設の耐震化を進めます。 | 病院、避難所など災害時に重要な施設を考慮した計画的な耐震強化 老朽管の耐震管への更新 | | |

「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



安桜山配水池



小瀬水源地 送水ポンプ

関連計画

- ・水安全計画（2018～2027）
- ・耐震化計画（2018～2027）
- ・水道事業経営戦略（2018～2027）

基本計画

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7

施策 37 下水道

現状・課題

(1) 下水道施設の現状

公共下水道のうち関処理区は供用開始から約 50 年が経過したほか、旧関地区の特定環境保全公共下水道（経過年数 田原処理区 25 年、小金田処理区 22 年、広見池尻処理区 20 年）、農業集落排水（経過年数 下迫間処理区 31 年、千疋処理区 29 年、保戸島処理区・上迫間処理区 24 年、志津野処理区 23 年、神野処理区 22 年、西神野処理区 19 年）についても供用開始から概ね 20 年以上が経過しています。

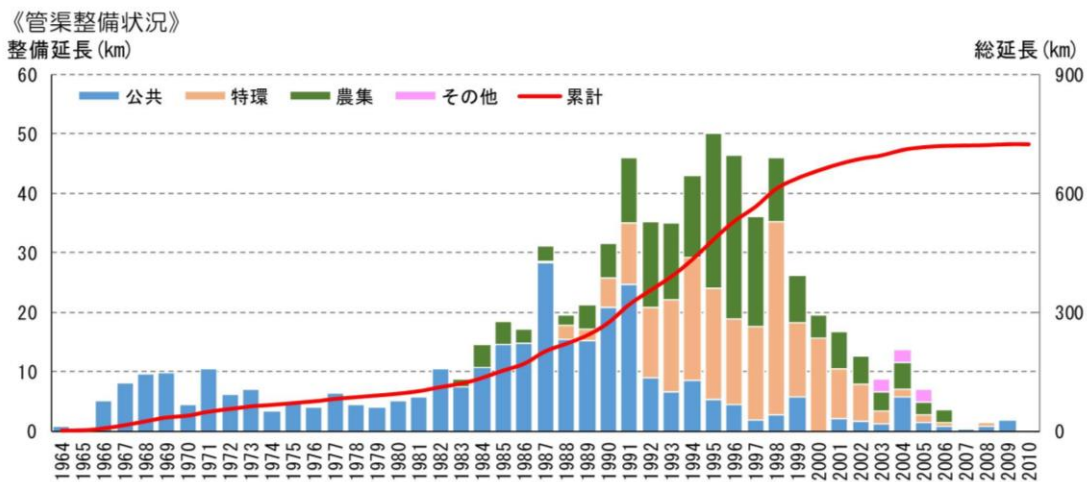
(2) スtockマネジメントの推進

下水道施設の機械や電気設備は、老朽化に伴い修繕が必要な箇所が多くなってきました。また、管路の老朽化も進んでおり、衛生的な下水処理を続けるためには、Stockマネジメントによる計画的な施設更新が必要です。

(3) 下水道事業の効率化と経営の安定

人口減少により料金収入の増加が見込めないなか、費用対効果を考慮し、より効率的な下水道事業の運営が求められています。農業集落排水処理施設の統廃合や、し尿の効率的な処理を検討し、下水道事業の経営の安定化を図る必要があります。

■ 管渠整備状況



資料：下水道課（2014年度（平成26年度）末時点）

めざす姿

- ・下水道管路・処理施設が市民ニーズに合わせて整備され、衛生的なまちが保たれています。

成果指標

下水道の満足度

アンケート結果

現状（2017）

96.3%

UP



下水道の経費回収率

汚水処理費の使用料収入による割合

現状（2016）

83%



中間目標（2022）

84%



最終目標（2027）

85%

取組

| 重点 | 取組の方向性 | 取組の主な内容 | New | SEKIism |
|----|-------------------------------------|---|-------------|---------|
| ● | 下水道施設・し尿処理施設の経済性を考慮した効率的な事業運営を行います。 | 公営企業会計の導入 し尿処理場再整備の検討 農業集落排水処理施設統合の検討 | ● ● ● | |
| | 公共下水道・特定環境保全公共下水道処理施設の長寿命化を進めます。 | ストックマネジメント計画 浄化センター施設の更新 | ● | |
| | 既存の管路、処理施設の適正な維持管理を行います。 | 白金下水処理場流量調整槽の建設 公共下水道・特定環境保全公共下水道の管路・処理場維持（浄化センター管理棟修繕、マンホールポンプ修繕、下水道管路電子地図情報作成） | ● | |

「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあわせています。



関市浄化センター



関市浄化センター 汚泥焼却炉

基本計画

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7

関連計画 ・ 下水道ストックマネジメント計画（2018～2023）